

利賀っ子だより



R5. 2. 8

○ 掃除の時間のもち方

教員の2学期の反省に「子供たちが仕事を見付けて時間いっぱい掃除をすることが難しいようだ。」ということが挙げられました。利賀小学校は、使う人数が少ないせいもあってか校舎がひどく汚れることはありません。ですから、「ここを掃除してこんなにきれいになった。」といった達成感を味わうことが難しいです。広い校舎を少ない人数で掃除をするため、一人一人の掃除の分担場所が広範囲です。そのため、班のメンバーが今、何をしているかが互いに分からないこともありました。

そこで、これまで掃除場所にきた人から掃除を始めていたことを改め、掃除グループで集まって、今日の掃除の時間でどこをきれいにするのかを確認し、時間の終わりにはその振り返りをして、互いに活動の様子が分かるようにしました。



【棚の隅々まで片付けるSさん】

この掃除の仕方についての振り返りを子供たちとしました。班長は、限られた時間内でどこを重点的にきれいにするか考えるようになったと話していました。また、掃除の開始にみんなが集まるまでの時間にもできることをする、残りの時間でできることを見付けて活動しているという工夫も聞かれました。今の方法がこれまでより、時間いっぱい仕事ができるというのが共通した考えでした。

子供たちと一緒に教員もよりよい方法を見付けていく利賀小学校です。



【掃除の反省会を始めます】

○ 2月は逃げる！

先日の朝の会で、「1月は、『往ぬる』2月は『逃げる』3月は『去る』と言われるくらい行事が多くあつという間に過ぎてしまうので、1日1日を大切に過ごそう」と話をしました。

低・中学年では、「卒業おめでとう集会」に向けて、話し合いをしたり、プレゼントをつくったりしていました。5年生は、卒業を祝う掲示物の作成に取り掛かっていました。そして、6年生は、卒業アルバムの制作に励んでいました。

「やっぱり2月は逃げますね。気が付いたら、もう中旬です。」と話す5年生。「思い出が次々浮かんできて、写真を選ぶ作業が進まない。」と嘆く6年生。

限られた時間で最大の成果が出るようチーム利賀で支援していきたいと思います。

【プレゼントづくり～低学年】



【掲示物作成～5年生】



【アルバム制作～6年生】

